



筑波大学体育専門学群

保健体育に関する論述試験〈2020年度入試〉

解答例

保健編

問題1 労働と健康に関する次の問題に答えなさい。

問題1-① トータルヘルスプロモーション(THP)とは何か説明しなさい。また、これに基づいて取り組まれる支援の具体例を2つあげそれぞれ説明しなさい。(150字以内)

問題1-① 解答例

THPとは、厚生労働省が推進する、職場全体で心と体の両面から進める総合的な健康づくりのことである。具体策として、職場ではさまざまな専門家によって、運動指導や食事指導、健康相談、心理相談、禁煙支援などがおこなわれている。また、心の不調で退職した人がスムーズに職場復帰できるような体制づくりなどもある。(149字)

問題1-② 職業病を含む労働災害の具体例を2つ挙げなさい。また、それぞれの防止対策について作業形態の管理と作業環境の管理の両面から述べなさい。(250字)

問題1-② 解答例

労働災害には、建設現場における墜落事故によるけがやパソコンなどの情報端末機器で作業することによってあらわれる症状のVDT障害が挙げられる。前者の作業形態の管理として安全帯をつけることやヘルメットの着用があり、作業環境の管理では安全ネットを張ることや休憩をきちんととることなどがある。後者の作業形態の管理として作業中の小休止や軽い体操をすることや机や椅子を調節し楽な姿勢で作業ができるようにすることがあり、作業環境の管理ではエアコンの風が直接当たらないことや直射日光や光源は視野から外すことなどがある。(250字)

体育編

問題2 運動やスポーツの活動時における安全性の確保に関する次の問題に答えなさい。

問題2-① 運動やスポーツの活動に伴う危険性を2つ挙げ、それぞれが起こる背景について説明しなさい。(150字以内)

問題2-① 解答例

運動やスポーツの活動中には、けがや熱中症などが起こる危険性がある。前者は、例えば、バレーボールにおいては着地したとき、サッカーやバスケットボールでは転倒したときの危険性である。後者は、高温下で水分補給をしないまま長時間運動をし、体温の上昇がおさえられなくなることで、引き起こされる危険性である。(147字)

問題2-② 運動やスポーツの活動時に安全を確保するための対策を3つ挙げ、それぞれについて具体例を説明しなさい。(250字以内)

問題2-② 解答例

運動を始める前には、服装の点検、運動環境の整備点検、健康状態の確認をおこなう。まず、服装の点検では、天気、気温、湿度に合った服装をしているか、おこなうスポーツにふさわしい服装をしているかなどについて確認する。次に、環境の整備点検では、使用する場所、施設、用具の状況などを確かめる。最後に、健康状態の確認では、体の状態が悪いと感じた場合や、先生や仲間から様子がおかしいと言われた場合は、運動への参加を中止し、状況によってはすみやかに医師の診断を受けるようにすることが大切である。(238字)

※問題は、受験生からの聞き取り調査により記載しています。

※解答例は、大修館書店の「最新高等保健体育」「現代高等保健体育」を参照し、体育進学センターが作成しました。

筑波大学 体育専門学群 **合格実績** 2019年度入試 **46名** 2018年度入試 **35名** 2017年度入試 **25名**

3/15(日) ~ 筑波大学 体育専門学群 入試分析報告会開催予定

解答速報についてのお問い合わせは、体育進学センター(入試解答速報係)までどうぞ。

— 電話: 0120-701-707 (フリーダイヤル) — メール: info@e-taishin.com